

会津の名峰に登る・冬

日本山岳ガイド協会認定ガイドがご案内する積雪期の会津の名峰たち。

今シーズンにラインナップは百名山3座+吾妻連峰最西端の山。こちらに掲載されていない山についてはプライベートガイドで承ります。

スノーシュー経験者向けの冬山登山プログラムです。1day スノーシュートレッキングからのステップアップにご利用ください。



はじめにお読みください。

ご参加いただく皆さまへ

我々が遊ぶ舞台である雪山。そこには夏山以上に様々なリスクが潜んでいます。山では「自己責任」という考えが基本であり、それを全うするために常に体力、技術、知識を身につけることを意識し、経験を積んでいく必要があります。

逆に言うと、その意識なくただ楽しみたいだけで山に向かう人は「登山不適格者」であり、事故と隣り合わせであることから「遭難予備軍」であるとも言えます。ただ山を歩いたことがあればいいというものではないのです。

しかし、当然ながら山に必要なスキルは一朝一夕で身につくものではありません。その不足している部分を補うのが「ガイドツアー」の存在なのだと思います。

もくもく自然塾の雪山登山プログラム「会津の名峰に登る・冬」では、ご参加いただく方ひとりひとりに『できるだけストレスなくツアーを楽しんでいただきたい』そして『冬山へ入るという行為に潜むリスクをもっと意識してほしい』という思いから、各ツアーごとに参加条件を設けさせていただいていることをご理解いただければ幸いです。

担当ガイド

渡邊 亮 (わたなべ りょう)

「ならぬことはならぬものです」を地でいく、会津が生んだサムライガイド。登山だけでなく、バックカントリー、キャニオニング、カヌーなどのガイドも務めるマルチプレイヤー。NHKの「おいで、東北」男子としても注目を集める。

1974年福島県会津坂下町生まれ。裏磐梯在住。東北山岳ガイド協会所属。日本山岳ガイド協会認定登山/スキーガイド、レスキュー3TRR-T/SRT-I、日本スノーボード協会認定インストラクター、日本レクリエーションカヌー協会認定指導員ほか。



「会津の名峰に登る・冬」のご案内

- (1) 「会津の名峰に登る・冬」は、以下の4つのプログラムで構成されています。
 - ・西大巔（1982m）～日帰りで行く樹氷の楽園～
 - ・安達太良山（1700m）～厳冬の「ほんとの空」を見に行こう！～
 - ・磐梯山（1816m）～厳冬の会津富士にチャレンジ！～
 - ・西吾妻山（2035m）～稜線を埋め尽くすスノーモンスター～
- (2) 定員は、磐梯山が5名、それ以外は8名。最少催行人数は2名です。
- (3) 料金には、ガイド代、傷害保険代が含まれます。現地での精算となりますので、できるだけ**釣銭**がいらぬようにご用意ください。
- (4) コースによってはリフト代や駐車場代、山小屋利用料等が別途必要になる場合があります。
- (5) **スノーシュー、ストック、雪崩ビーコンは必携**です。レンタル（有料）をご希望の方は参加申し込みと同時に申し込みください。
- (6) **持ち物については、装備表（3ページ）で必ずご確認ください。**
必須装備（◎がついたもの）は個人が携帯する装備ですので、夫婦・カップル・友人同士で共同で持つということがないようにお願いします。
装備が不足している場合は参加をお断りする場合がありますのでご注意ください。
- (7) **ゾンデ（プローブ）、スコップ（ショベル）**をお持ちの方はご持参ください。
- (8) 天気にもよりますが、昼食時間はゆっくり取りますので簡単な調理をしていただいても結構です。ただし、調理せずに食べられるものも必ずご用意ください。
- (9) 電車・バス等、**公共交通機関をご利用の方**については、各プログラムごとの指定時間までにもくもく自然塾ガイドセンターにお越しただければ集合場所まで無料送迎しますので、参加申し込みの際にお申し出ください。
- (10) コースは、**基本的に開催日前1週間以内に担当ガイドが下見をします。**当日の天候、積雪等の気象条件によっては中止またはコースを変更する場合があります。
- (11) **開催日以外の開催（ただし、平日のみ）をご希望の方はご相談ください。**

レンタル用具のご案内

- [スノーシュー] 2,300円（税込）/日 ※登山向けスノーシューとストックのセットです。
- [雪崩ビーコン] 1,000円（税込）/日 ※雪崩埋没時の発見を容易にする電波送受信機です。
- [ヘルメット] 500円（税込）/日

「会津の名峰に登る・冬」 装備表

◎：必須装備 (◎)：ツアーによっては必須 ○：より安全・快適に過ごすための装備 △：あると便利な装備

装備	チェック	備考
スノーシュー・ストック	◎	平地向けではなく、登山向けのものが望ましい。(レンタル可)
ザック	◎	携行する装備が入る大きさのもの。
アウター (上下)	◎	防水性、透湿性の高い素材のものがオススメ。
中間着	◎	フリースなど、軽量で保温性の高い素材のもの。
予備の防寒着	◎	薄手のダウンなど、軽量で保温性の高い素材のもの。避難小屋泊とテント泊では上下必須。
アンダーウェア (上下)	◎	保温性、速乾性の高い素材のもの。綿製品は不可。
グローブ	◎	防水性・保温性のある厚手のものと保温性のある薄手のものの2種類は最低限用意。
帽子	◎	耳たぶまでしっかり覆うタイプのもの。
靴下	◎	保温性の高い素材のもの。
靴	◎	防水性・保温性のある登山靴またはスノーアクティビティ用シューズ。
サングラス	◎	雪目防止。ゴーグルでもよいが、汗をかくと曇りやすいので使い方に注意が必要。
行動食	◎	チョコレートなど、歩きながらやちょっとした休憩で食べられるもの。多めに用意すれば万一の場合の非常食にもなる。
昼食	◎	山では食事も楽しみのひとつ。おにぎりは凍りやすいので不向き。
テルモスまたは水筒	◎	行動中の水分補給に。暖かい飲み物があるとより快適。
ヘッドライト	◎	万一の場合の備え。予備電池も忘れずに。
ゴミ袋	◎	持ち込んだものはすべて持ち帰る。
雪崩ビーコン	◎	雪崩埋没時のレスキューに必要。(レンタル可)
プローブ (ゾンデ)	○	雪崩埋没時のレスキューに必要。
スコップ (ショベル)	○	雪崩埋没時のレスキューに必要。
スパッツ	○	シューズ内が濡れるのを防ぐ。また、アイゼン装着時に裾を保護するために。
ネックウォーマー	○	悪天候時に重宝。バラクラバ (目出し帽) なら尚よし。
カイロ	○	食事中や就寝中の防寒対策として。
携帯座布団	○	お尻を冷やさないように。これ1枚で食事が快適に。
ロールペーパー	○	トイレ時や食器を拭く場合に使用。
医薬品	○	各自で必要なものを用意。
アイゼン	(◎)	安達太良山、磐梯山では前爪のある8本爪以上が必須。
ピッケル	△	磐梯山の下りでは役に立つことも。
ヘルメット	(◎)	磐梯山では必須。(レンタル可)
調理道具	△	バーナー、コッヘル、燃料、食材、調味料等。山での食事は一手間かけるのもまた楽し。

*** 注意 *** (1) 装備表の内容はあくまでツアーの装備であり、個人で行く場合の装備としては不足しています。

(2) 自前の装備については、ツアー当日までに必ず使い方を把握しておいてください。

お申し込み方法

まず、このプログラム詳細の内容をよくご確認ください。グループでお申し込みの場合は、代表者も含め**参加者全員が必ずご確認ください。**

参加希望日の7日前（磐梯山は10日前）までにお電話にてお申し込みいただき、下記のいずれかの方法で申込用紙を入手し、FAXでお送りください。

申込用紙のPDFファイルを直接編集し、info@moku2-outdoor.com宛にメール添付でお送りいただいても結構です。

(1) ホームページから申込用紙をダウンロードする。

(2) 申込用紙を自宅に郵送してもらう。

※お電話にてお申し込みいただく前に参加申込書や同意書だけをご送付いただいた場合は申込を受理できませんのでご注意ください。

※予約状況によっては7日前を過ぎてのお申し込みもお受けできる場合がございますのでご相談ください。
 （磐梯山については保険加入の都合上、締切日厳守とさせていただきます）

キャンセルについて

ガイドがツアーに適さない天候と判断し催行を中止にした場合、天災、事故（事故証明書をご提出いただきます）、事件などを除く理由によりプログラムの参加を中止する場合には、下記のキャンセル料を頂戴いたします。

プログラム開始日の7日前から2日前まで	料金の 30%
プログラム開始日の前日および当日	料金の 50%
連絡なしの当日キャンセル	料金の 100%

申込書未送付の場合でも、お電話にてお申し込みいただいた時点で下記キャンセル料の対象となりますのでご注意ください。お申し込みを取り消す場合は必ずお電話にてご連絡ください。

また、病気やケガによるキャンセルについてもキャンセル料の対象となります。体調管理に万全を期すようお願いいたします。

お申し込み・お問い合わせ先

裏磐梯 もくもく自然塾

〒969-2701 福島県耶麻郡北塩原村大字桧原字小野川原 1092-38

TEL : **0241-23-9018** FAX : **024-505-4826** URL : <http://moku2-outdoor.com/>

西大巔（1982m）～日帰りで行く樹氷の楽園～

目の高さにスノーモンスター（樹氷）。
眼下に広がる裾野を彩る白い高原。その先には桧原湖が見える。

猫魔ヶ岳、磐梯山、川桁山、安達太良山。
今まさに立っている吾妻連峰をはさみ、蔵王連峰、
月山、朝日連峰と山々は続く。
そして、西に一際白く浮かび上がるのは飯豊連峰。

その全てがピークからの眺め。
汗をかき、登り詰めた者だけが手に入れられる絶景
です。



[開催日] (1) 2017年1月2日（月・祝） (2) 2017年1月5日（木）
(3) 2017年3月20日（月・祝）

※日程(1)(2)は、「もくもく登山塾レベル2～秋冬編～」の講習として実施します。

[対象] 一日行程のスノーシュートレッキング経験者、または「雪山登山基礎講習」にご参加いただいた方。ただし、必要な個人装備（装備表参照）をすべて背負い、コースタイム5時間程度（休憩時間は除く）の山歩きができること。

[体力度] ★★★★★（6時間程度の山歩きを余裕をもってできる体力が必要です）

[集合] 8:40 グランデコスノーリゾート西ウイング内

※公共交通機関ご利用の方で送迎をご希望の方は、8:00 もくもく自然塾ガイドセンター

[参加費] 9,500円（税込）

[ルート] グランデコスノーリゾート～西大巔

※基本的には登りと下りで別ルートを予定していますが、使用するスノーシューおよび歩行技術、積雪状況によっては同じルートになる場合がございます。

[行程] 8:40 集合（すぐに出発できる服装で） 装備チェック／行程の説明／ルートの確認
9:00 準備運動後、出発（ゴンドラ・リフト利用でスキー場上部に登ってから登山開始）
11:45 登頂（山中で食事）
15:00 下山

※時間は大まかな目安です。体力の個人差、天候、積雪状況などによって異なります。

[備考] ・参加費にはガイド代、傷害保険代（アイゼン使用不可）が含まれます。
・駐車場代（お車でお越しの方のみ）、リフト代（1回券が登り3枚・下り1枚の計4枚）が別途必要になります。

安達太良山（1700m）～厳冬の「ほんとの空」を見に行こう！～

「智恵子抄」でも有名な安達太良山は、標高 2000m にも満たない山でありながら、まるで 3000m の稜線を歩いているかのような錯覚を覚え、雪山の魅力存分に味わうことのできる山です。

冬山の厳しさを痛感する稜線。それと相反する存在が、温かく癒してくれる標高約 1350m の温泉宿「くろがね小屋」。このミスマッチが「この山にまた来たい」と思わせてくれます。

基本的にはスノーシュー登山ですが、アイゼン必携です。



[開催日] 2017年1月7日（土）

[対象] 一日行程のスノーシュートレッキング経験者、または「雪山登山基礎講習」にご参加いただいた方。ただし、必要な個人装備（装備表参照）をすべて背負い、コースタイム6時間程度（休憩時間は除く）の山歩きができること。

[体力度] ★★★★★（7時間程度の山歩きを余裕をもってできる体力が必要です）

[集合] 8:15 あだたら高原スキー場チケット売場前

※公共交通機関ご利用の方で送迎をご希望の方は、7:00 もくもく自然塾ガイドセンター

[参加費] 11,000 円（税込）

[ルート] 奥岳登山口～安達太良山

※周回コースを予定。詳しいルートは積雪状況やリフトの運行状況によって当日決定します。

[行程] 8:15 集合（すぐに出発できる服装で） 装備チェック／行程の説明／ルートの確認

8:30 準備運動後、出発

～ 安達太良山登頂、山中で食事、時間があれば「くろがね小屋」で入浴 ～

15:30 下山

※時間は大まかな目安です。体力の個人差、天候、積雪状況などによって異なります。

[備考] ・参加費にはガイド代、傷害保険代（アイゼン使用可）が含まれます。

・リフトを利用する場合はリフト代が、小屋を利用する場合は利用料が、入浴する場合は入浴代が別途必要になります。

・前爪のあるアイゼンは必携です。事前に必ず着脱の練習をしておいてください。（厳しい環境である冬山における装備使用の不慣れは、仲間を危険にさらします。）

磐梯山（1816m）～厳冬の会津富士にチャレンジ！～

ほとんど人が近づくことのない厳冬期の磐梯山には、他の季節とはまた違った美しい世界が広がっています。

表磐梯から登る冬の一般ルートではなく、少しだけ難易度が上がる裏磐梯側からアプローチ。表磐梯から登るルートでは味わえない絶景がそこにはあります。

基本的にはスノーシュー登山ですが、アイゼン必携です。弊社の雪山登山経験者向けのプログラムです。



[開催日] 2017年1月8日（日）

[対象] これまでもくもく自然塾の雪山登山プログラムにご参加いただいたことがある方。
ただし、必要な個人装備（装備表参照）をすべて背負い、コースタイム7時間程度（休憩時間は除く）の山歩きができる方。

[体力度] ★★★★★（8時間程度の山歩きを余裕をもってできる体力が必要です）

[集合] 8:00 裏磐梯スキー場チケット売場前

※公共交通機関ご利用の方で送迎をご希望の方は、7:15 もくもく自然塾ガイドセンター

[参加費] 12,000円（税込）

[ルート] 裏磐梯スキー場～磐梯山

[行程] 8:00 集合（すぐに出発できる服装で） 装備チェック／行程の説明／ルートの確認
8:20 準備運動後、出発（山中で食事）
13:00 登頂
15:30 裏磐梯スキー場到着

※時間は大まかな目安です。体力の個人差、天候、積雪状況などによって異なります。

[備考] ・参加費にはガイド代、傷害保険代（アイゼン使用可）が含まれます。
・リフト代が別途必要になります。
・前爪のあるアイゼン、ヘルメットは必携です。事前に必ず着脱の練習をしておいてください。（厳しい環境である冬山における装備使用の不慣れは、仲間を危険にさらします。）

西吾妻山（2035m）～稜線を埋め尽くすスノーモンスター～

スノーモンスター（樹氷）の楽園・西吾妻山。日本百名山・吾妻山の最高峰でありながら夏場は眺望のまったくないこの山も、積雪期にはすばらしい景色を楽しむことができます。

裏磐梯側から安全にアプローチするためには前衛峰・西大巔を越える必要があるため、少々体力が必要な行程になります。

しかしながら、その稜線を埋め尽くすスノーモンスターを目の当たりにすれば、それまでの疲れもきつと吹き飛ばすことでしょう。



[開催日] 2017年1月9日（月・祝）

[対象] 一日行程のスノーシュートレッキング経験者、または「雪山登山基礎講習」にご参加いただいた方。ただし、必要な個人装備（装備表参照）をすべて背負い、コースタイム7時間程度（休憩時間は除く）の山歩きができること。

[体力度] ★★★★★（8時間程度の山歩きを余裕をもってできる体力が必要です）

[集合] 8:00 グランデコスノーリゾート西ウイング内

※公共交通機関ご利用の方で送迎をご希望の方は、7:00 もくもく自然塾ガイドセンター

[参加費] 11,000円（税込）

[ルート] グランデコスノーリゾート～西大巔～西吾妻山の往復

[行程] 8:00 集合（すぐに出発できる状態で） 装備チェック／行程の説明／ルートの確認
8:15 準備運動後、出発（ゴンドラ・リフトでスキー場上部に登ってから登山開始）
12:30 登頂（山中で食事）
16:00 下山

※時間は大まかな目安です。体力の個人差、天候、積雪状況などによって異なります。

[備考] ・参加費にはガイド代、傷害保険代（アイゼン使用不可）が含まれます。
・リフト代（1回券が登り3枚・下り1枚の計4枚）が別途必要になります。

2016.12.07 「会津の名峰に登る・冬」初版。

2016.12.16 レンタル料金を修正。

2016.12.22 西大巔の集合時間および行程時間を修正。

※このプログラムの詳細は、予告なく内容が変更される場合があります。